

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	19-1																								
PDCA	主要事業名	健康づくり推進事業	部課名	福祉部健康課	担当 内線	榊原(晶) 358																									
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 2 - 1 単位施策： 健康づくり 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 1,695 千円 会計 一般会計 歳出科目： 04.01.01.04.01																														
	事業概要等	事業概要： 健康増進法・自殺対策基本法 第2次健康はんだ21計画・半田市自殺対策計画 健康寿命の延伸および自殺者の減少のため、年齢を問わず、市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを推進する。																													
		事業目的： 市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを推進することで、健康寿命の延伸および自殺者の減少を目的とする。																													
		事業内容： 身体とこころの健康づくりを推進するために、地域で教育や相談を行ったり、個別での相談を訪問等で実施する。																													
		問題点・生涯にわたり生活習慣病を予防するため、若い年齢層からの働きかけが重要課題等： であり、社会全体の問題として自殺対策に取り組む必要がある。																													
	予算額	主要事業とする理由																													
	1,695 千円	市民一人ひとりの身体とこころの健康づくりを総合的に推進し、市民がライフステージに応じた健康的な生活習慣づくりに取り組み、健康を維持する環境を整備するため。																													
	財源内訳	得られる成果																													
	市費 988 千円	市民の健康度が上がることで健康寿命の延伸や医療費の削減につながる。また、こころの健康も推進され、自殺者の減少にもつながる。																													
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て世代のエクササイズ教室参加人数</td> <td>実績値</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td>—</td> <td>480</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ゲートキーパー養成講座の受講者アンケートで「自殺を考えている人に声かけができる人」の割合</td> <td>実績値</td> <td>91.9</td> <td>98.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値</td> <td>80.0</td> <td>93.0</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	子育て世代のエクササイズ教室参加人数	実績値	—	—	人		目標値	—	480	人	ゲートキーパー養成講座の受講者アンケートで「自殺を考えている人に声かけができる人」の割合	実績値	91.9	98.0	%		目標値	80.0	93.0
目標値や目指すべき状態	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																											
子育て世代のエクササイズ教室参加人数	実績値	—	—	人																											
	目標値	—	480	人																											
ゲートキーパー養成講座の受講者アンケートで「自殺を考えている人に声かけができる人」の割合	実績値	91.9	98.0	%																											
	目標値	80.0	93.0	%																											
県費 707 千円																															
その他 0 千円																															
D 実績値 得られた成果と	決算額	得られた成果																													
	1,395 千円	- 子育て世代のエクササイズ教室では、育児や家事に忙しく運動の機会が少ない子育て世代を対象に運動を始めるきっかけづくりを提供することができた。 - ゲートキーパー養成講座では、小中学校の教員や生命保険会社の営業職、市役所の新入職員等を対象に7回開催し、190人養成することができた。																													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子育て世代のエクササイズ教室参加人数</td> <td>実績値 250</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 480</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ゲートキーパー養成講座の受講者アンケートで「自殺を考えている人に声かけができる人」の割合</td> <td>実績値 95.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標値 93.0</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>						成果指標	令和5年度	単位	子育て世代のエクササイズ教室参加人数	実績値 250	人		目標値 480	人	ゲートキーパー養成講座の受講者アンケートで「自殺を考えている人に声かけができる人」の割合	実績値 95.0	%		目標値 93.0	%									
	成果指標	令和5年度	単位																												
	子育て世代のエクササイズ教室参加人数	実績値 250	人																												
		目標値 480	人																												
	ゲートキーパー養成講座の受講者アンケートで「自殺を考えている人に声かけができる人」の割合	実績値 95.0	%																												
		目標値 93.0	%																												
C 課題の整理	事業の評価・課題	C - 年代や性別に合わせた講座等を実施し、市民へ健康づくりに関する知識の普及・啓発をすることができた。健康づくりは、若い世代から健康的な生活習慣を確立することが重要であるため、若年層が参加しやすい機会を提供する必要がある。 - 新規事業の子育て世代のエクササイズ教室は、参加者の満足度は高かったが、参加人数は目標に達しなかった。 - 自殺者数の多い若年層や働き盛り世代への対策として、ゲートキーパー養成講座を実施することができた。																													
A 課題の解決に向けた今後	今後の事業の方向性	改善推進 - 健康マイレージアプリ「あいち健康プラス」の導入を検討し、ICTを用いた若年層への健康づくりを進める。 - 子育て世代のエクササイズ教室に関しては、より多くの市民へ講座や事業をPRするとともに、参加人数を増加すべく開催場所や日時などを検討する。 - 学校教育課と連携し、市内小中学校の教職員を対象に、ゲートキーパー養成講座を市内全校で継続して実施していく。																													
	観点別評価	必要性	有効性	効率性																											
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 中程度	⑦コスト削減 減余地	ない																										
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある																												
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地	ない																										